



2023年7月13日

各 位

会 社 名 東洋電機製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡部 朗
(コード番号 6505 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員経営企画部長 貫名 純
(TEL 03-5202-8122)

中期経営計画の経営目標値に関するお知らせ

当社グループは、2022年7月14日に公表いたしました2026年5月期を最終年度とする「中期経営計画2026」の見直しを行い、2024年5月期から2026年5月期まで3ヵ年について、新たに経営目標値を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 見直しの背景

計画初年度となる前事業年度については、産業事業に関わる事業用資産の減損処理を実施した2022年5月期に続き、「収益力を高める構造改革に徹底して取り組む1年」と位置付け、「東洋電機の再生と変革」に向けた取組みに注力し、2026年5月期に向けた「中期経営計画2026」の数値目標については、この1年間の構造改革の取組みの進捗と成果および事業環境を踏まえ、2023年7月にお示しすることとしておりました。

2. 「中期経営計画2026」の基本方針について

当社グループは、2022年5月まで取り組んだ中期経営計画「リ・バイタライズ 2020/2022」(期間2019年5月期～2022年5月期)において得られた成果や残された課題を元に、新たな4年間の中期経営計画に取り組むこととしておりました。しかしながら、コロナ禍による鉄道旅客数の減少や自動車電動化に向けた試験装置の見直しなど大きな事業環境の変化に対応できる十分な収益力を得られていなかったことから、結果として計画値に対し大幅な未達となりました。

この結果とともに明らかになった当社自身が抱える課題を踏まえ、「中期経営計画2026」(期間2023年5月期～2026年5月期)については、「企業価値の回復・向上」を図るために、「東洋電機の再生と変革」を成し遂げる期間と位置付けております。

そのために、計画の3つの基本方針として(1)「新しい事業・製品の拡大」と(2)「既存事業の徹底した収益体質の改善」を進め、(3)「資本コストを意識した資産効率の改善」を行う事で、ROE 8%を目指します。

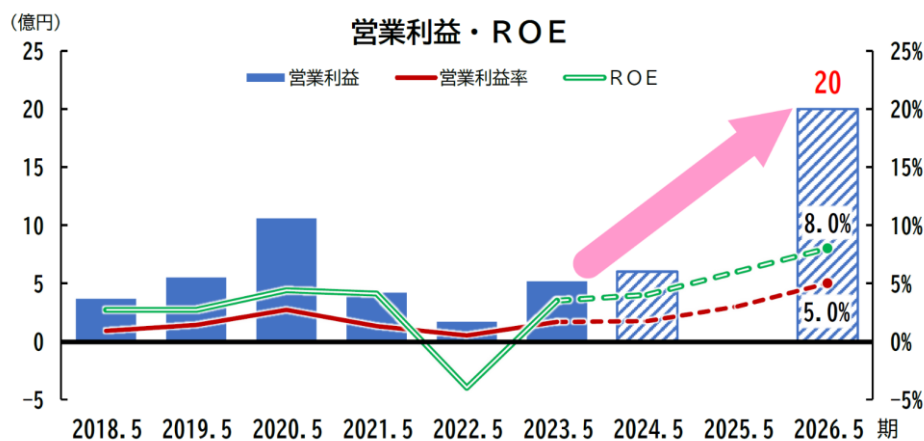
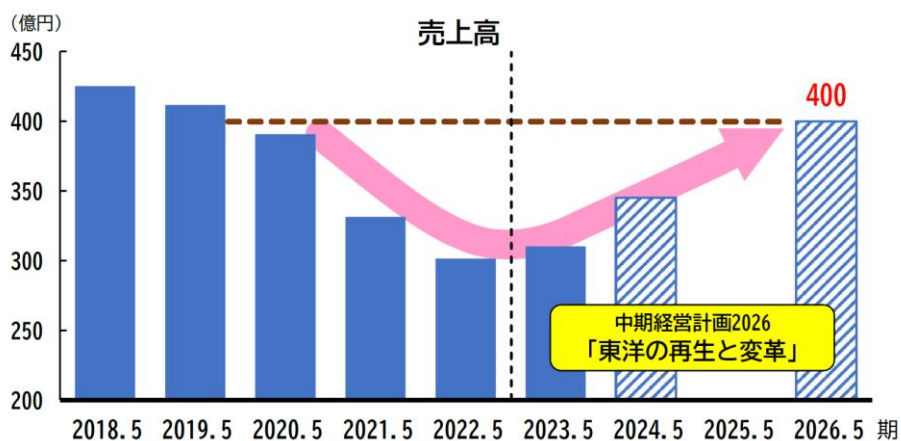
3つの基本方針	内 容
(1) 新しい事業・製品の拡大	全社横断的な新事業領域の開発強化・迅速化を推進し、電動化やDX化、脱炭素化等への対応を図る
(2) 既存事業の徹底した収益体質の改善	生産効率の向上と適正な売価確保の両面から、工場・営業一体で収益力を抜本強化
(3) 資本コストを意識した資産効率の改善	政策保有株式の縮減を継続するほか、事業毎の資本効率性を検証し、経営資源の最適化を推進

3. 目標とする経営指標

(億円)

		中期経営計画2026			
全社(連結)		2022年5月期 実績	2023年5月期 実績	2024年5月期 計画	2026年5月期 計画
売上高		301.5	310.2	345.0	400.0
営業利益		1.7	5.1	6.0	20.0
(営業利益率)		0.5%	1.7%	1.7%	5.0%
経常利益		7.6	9.8	9.5	24.0
純利益		△9.3	8.2	8.0	16.0
ROE		△4.0%	3.5%	4.0%	8.0%
配当性向		—	32.7%	35.4%	30.0%以上

セグメント別連結売上高		2022年5月期 実績	2023年5月期 実績	2024年5月期 計画	2026年5月期 計画
交通		194.5	198.5	218.0	250.0
産業		99.0	99.0	116.0	130.0
ICTソリューション		7.9	12.5	11.0	20.0



以上